

雅樂

レクチャーコンサート

笙
しょう
・
箎
ひちりき
・
策
ふえ
・
笛



《足柄山の秘曲伝授の図》

出演



豊英秋



安齋省吾



池邊五郎

司会



齊藤壽胤

—飛翔する三管の調べ—

平成29年 4月22日(土)

午後1時30分開演 (開場0時30分)

上演時間約2時間

アトリオン音楽ホール (秋田市)

¥3,000 (全席自由)

主催 / 書肆フローラ

後援 / 秋田県教育委員会・秋田市教育委員会・秋田県神社庁・一般社団法人 秋田県芸術文化協会
秋田魁新報社・朝日新聞秋田総局・毎日新聞秋田支局・北羽新報社・北鹿新聞社・週刊アキタ
ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・エフエム秋田

雅楽レクチャーコンサート 「笙・箏・篳篥・笛―飛翔する三管の調べ」に寄せて

雅楽は、日本古来の歌と舞や、古代のアジアから伝わった楽器演奏と舞を基に、平安時代中期に完成した、古典音楽。主に宮中や有力社寺で演奏されてきましたが、明治以降は、宮内庁が伝承しています。

雅楽には、「国風歌舞」「大陸系の楽舞(唐楽と高麗楽)」「歌曲(催馬楽と朗詠)の三種類があります。

楽器演奏は「管絃」と言い、二管両絃(楽箏と楽琵琶)三鼓(鞆鼓・太鼓・鉦鼓)の小規模な室内楽形式の編成です。宮内庁式部職楽部では、十六人で合奏します。

中でも、この公演の「三管」は笙・箏・篳篥の三種類の管楽器を指し、管絃の演奏主体です。主旋律は箏が、笛は裝飾的に、笙が和音を付けます。

三管は小さな宇宙を創る―笙の音色は天上の動物、箏は地上の動物、笛は龍や鳥が、天と地を行き来するようだとよく言われます。

宮内庁の楽部の楽生(練習生)になると、まず「唱歌」で、曲を教えられます。楽器を使わないで譜を歌うことで、

なかなか実際に楽器で演奏する許しはおりません。今回は練習のときの唱歌の歌い方とさらに唱歌での独奏や合奏なども実際に演奏してくれそうです。

雅楽の演奏にあたっては、指揮者は置きません。それだけに、全員が、自分の専門の持管だけでなく、他の楽器の演奏に精通していることが求められます。舞台では、一番のベテランである鞆鼓の演奏者が指揮者の役割を果たします。唱歌から鞆鼓の演奏までには、長い年数が経つのです。

この公演では、合奏も、楽器ごとの演奏(二管吹)も聞かせてくれます。「越天楽」のように、お馴染みの曲が楽器によって違って聞こえるのも、珍しい経験です。

雅楽のなかには、舞楽もあります。中国・中央アジア・インド系の音楽は唐楽、舞は左方舞(左舞)と呼びます。朝鮮・満州系は高麗楽、舞は右方舞(右舞)と呼びますが、その舞ぶりも少し見せていただきますながら、雅楽の世界を味わうことにしましょう。

出演

豊英秋 ぶんのひであき

昭和19年、生まれ。京都方楽家出身。40年、楽師拜命。元宮内庁式部職楽部首席楽長。十二音会委員長。平成21年、日本芸術院賞受賞。専門は、笙・箏・右舞。

表面(上)の《足柄山の秘曲伝授の図》は笙の家である豊(豊原)家に伝わる狩野派の絵。平安時代の豊原時元が源義光には太食調の秘曲を伝えたが、幼い息子の時秋には伝えずに亡くなった。成人した時秋は、後三年の役平定時、八幡太郎義家と共に戦うために出羽の国に向かう源義光を追い、足柄山で秘曲を伝え返してもらったという逸話を描いている。

安齋省吾 あんざいしょうご

昭和22年、生まれ。35年、宮内庁式部職楽部の楽生となり、東儀文隆、安倍季巖、辻寿男に師事。44年、楽師拜命。元宮内庁式部職楽部首席楽長。十二音会会員。箏・箏・左舞。

池邊五郎 いけべごろう

昭和25年、生まれ。36年、宮内庁式部職楽部楽生となり、45年、楽師拜命。元宮内庁式部職楽部首席楽長。十二音会会員。箏・箏・左舞。

司会

齊藤壽胤 さいとうじゅいん

昭和29年、生まれ。鶴ヶ崎神社宮司。日本民俗経済学会理事。秋田県民俗学会副会長。平成9年、NHK東北ふるさと賞、平成27年、神道文化会表彰などを受賞。

一雅楽公演 平成27年9月20日開催

悠紀の国に捧ぐの感想

アンケートから

- ❖一度は雅楽の本当の音色を聴きたいと思っていたので、大変嬉しかったです。(秋田市・女性)
- ❖古典を残すには継ぐ人がいないとできません。どんどん新しくなっていく時代に、どうぞ続けて下さい。本の中でしか知らなかった古にかえる心地に、有難かったです。時々思い出すことでしょう。(秋田市・女性)
- ❖贅沢な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。(秋田市・男性)
- ❖「天上の楽人の音」はこのようなものかと思い、日本文化の奥深さを改めて感じました。(北秋田市・女性)
- ❖越天楽以外は初めて聴く曲なのに、不思議なほど親近感をもちました。それぞれの楽器の見事な調和は、お互いの楽器をよく知り、和音を高く保つ心なしには生まれられないと思いました。(鹿角郡・男性)
- ❖音楽の教師をしています。日本の音楽の勉強をする機会を与えていただき、ありがたかったです。授業でも雅楽を取り上げ、生徒にその良さを伝えたいと思います。(秋田市・女性)
- ❖国風歌舞はどこか懐かしく、遥かに心洗われる心地がして、管絃は厳かながら華やかに、舞楽は静と動を貫く気迫に圧倒されました。一流の雅楽公演を秋田で拝見することができ、幸せでした。(秋田市・女性)



アトリオン音楽ホール

秋田市中通2-3-8
アトリオン4F
(JR秋田駅西口から徒歩5分)

チケットのお申込・お問合せ先(FAXは以下の欄をご利用ください)

- ❖ **書肆フローラ**(秋田市) TEL 018-847-0691/FAX 018-847-0692
- ❖ **工芸ギャラリー園**(大仙市) TEL 0187-75-1339/FAX 0187-75-1340
- ❖ **caoca広場サービスカウンター**(秋田駅ビル トピコ内)

お名前

ご住所 〒

お電話

4月22日

アトリオン
音楽ホール

枚